

ILCの最近の動向について

■動向の概要

- ・今年3月7日に文科省は初めて ILC に前向きな意向を ICFA (国際将来加速器委員会) /LCB (リニアコライダー国際推進委員会) の合同国際会議の場で表明 (文科省磯谷研究振興局長)。内容は、「ILC 計画に関心を持って国際的な意見交換をする」というもの。
- ・柴山文科大臣 (当時) は、日本の3月7日の意向表明について、「正式な学術プロセス (日本学術会議が策定するマスタープラン等) で議論する」と発言。
- ・2020年1月に日本学術会議がマスタープランを公表。これを踏まえ、文科省は学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想「ロードマップ」を4ヶ月程度かけて策定。
- ・一方、欧州素粒子物理戦略 (2020~2024) は、2020年5月に承認される予定。
- ・リニアコライダー国際会議「LCWS2019」【主催: LCC (リニアコライダー・コラボレーション)】が仙台で開催される (10/28~11/1)。

1. 文科省関心表明後の主な動き

(1) KEKが日本学術会議のマスタープランに申請

- ・2019年3月、文科大臣の意向を受けた研究機関 KEK (高エネルギー加速器研究機構・つくば市) が日本学術会議のマスタープランに応募。
- ・同プランは大型研究計画に一定の指針を与えることが目的で、3年ごとに作られる。現在審査中で、結果は2020年1月に公表される予定。

(2) 建設経費等の国際分担を話し合う国際的検討チームを設置

- ・2019年5月、日本のKEKが呼びかけ、欧米等の研究者と検討開始。
- ・10月初旬に検討結果公表。文科省に説明・提出。

(3) 日仏、日独でそれぞれの二国間協議体の設置に合意

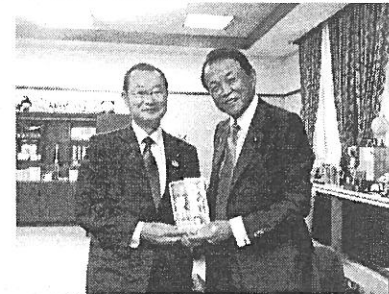
- ・2019年7月1~2日、超党派 ILC 誘致議員連盟幹部 (河村建夫会長、塩谷立幹事長)、文部科学省、KEK 等の訪欧団が、独仏両国を訪問。日独、日仏の二国間での協議体の設置に合意。米国とは既に2016年に合意し活動している。

2. 今後のスケジュール

2019年10月末	・LCWS2019 仙台開催 (10/28-11/1)
2020年1月	・日本学術会議マスタープラン公表
2020年5月	・欧州素粒子物理戦略承認決定
2022年以降	・国際協議と準備期間 (最終設計・アセス等) を経て国際研究所設立、着工

3. 人気漫画「会長 島耕作」ILC単行本の発刊について

- ・9月20日、人気漫画「会長 島耕作」の ILC 編単行本が発刊。
- ・本単行本は、週刊漫画誌「モーニング」で今年1月~5月まで掲載された作品を収録したもの。
- ・発売日には、ILC 推進国会議員連盟の河村会長が、麻生財務大臣を表敬し、本単行本を贈呈。



河村会長から麻生大臣への贈呈の様子

※仙台でリニアコライダー国際会議開催 (10/28~11/1)

- ・世界トップレベルの ILC 研究者が一堂に会する国際会議が、仙台国際センターで開催される (日本では3年前に盛岡市で開催)。
- ・期間中、来賓として ILC 議連の幹部、村井知事、仙台市長、達増知事もご出席予定。
- ・11月1日、ジェフリー・テラー ICFA 議長の講演会 (主催: 東北 ILC 推進協議会) を開催。